



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立115年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和6年1月号

令和6年1月30日発行

私たちの世代は

崎原小中学校 校長 鐘 謙治

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

さて、今回のタイトル「私たちの世代は」は、保枝さつきさんにお借りした本のタイトルです。著者瀬尾まいこ。文藝春秋から発行されています。

この本の登場人物は、コロナ禍において、人生が順調には進まなかった子どもたち。一人は、学校に行きたくて仕方なかったのだけれど、コロナによる休校が明けたときに、父親の体調があまりよくなかったため、「行かなくても、行ってもいいんだから」ということで、学校に行かなかったことで不登校になってしまった子。一人は、明るい母のもと元気に過ごしていたがいじめにあってしまう子。親がなかなか帰ってこなくて、頭がいいにもかかわらず学校に通わなくなった子。その他にも様々な人間模様をもった人たちが登場します。

この本を読んで、コロナによる影響は、一人一人違って、ある人には他愛のないことであつたとしても、ある人には大きなショックだったり、大きなストレスであつたりする可能性があることに気づかされました。おそらくこの本は、フィクション作品ではあると思うのですが、どこかに同じような人がいるんだろうと思わされる作品でした。登場人物の多くが、小学3年生から登場してきますが、我々大人でもコロナには体だけでなく、心を蝕まれました。人と話す機会は減り、マスクに覆われた顔からは表情が読み取れず、いつの間にか他人とは関わらなくなり、自分のことだけで精一杯になっていきました。コロナは、今までの経験にはないことばかりを生み出しました。ですから、経験則だけではなく、相手のことをもっともって考える必要が出てきたのです。

この本の最後の方では、主人公が教師になり、語るシーンが出てきます。「環境も一人一人違うし、考えていることも一人一人違うから、人のことがわかるのって難しいよね。」と。まさにその通りだと思います。しかし、人は自分のもっているものや経験したことではしか物事を見ることができません。「ひょっとしたら」とか「まさか」と思うことがその人の身に起こっているのかもしれない。きっとこうなんだろうと決めつけずに、いろんな話をしてみる大切なのかもしれません。

この本の最後は主人公のこんな言葉で締めくくられています。「送るべきだった日常。用意されていたであろう未来。そこにあったはずの喜びや楽しみ。そこに付随する悲しみや困難。私たちはそれらを手にすることはできなかったのかもしれない。だけど、私のもとにはあの日々が連れてきてくれたものがたくさんある。どれも失いたくないものだ。」確かに人生は理想的な流れがあるかもしれませんが、それは私たちが生きてきた中で理想です。今の子どもたちにとって何が理想なのかは、その一人一人の子どもたちが決めることなのかもしれません。子どもたちが描いた理想を見れば、我々大人からすれば「違うのでは？」と疑問符がつくかもしれませんが、子どもたちの本当の力を信じて、手助けをしたり、じっと待つことも我々大人の役割になってきたのかもしれません。コロナが生み出した影響は、悪いことばかりではなく、多様性を見取られるようになった。周りの人のことを考えられる時代になったと数年後にいえるようになってほしいと心から願います。

～児童生徒会スローガン～

光

共に笑おう 共に進もう
個性で彩る31の夢

始 業 式

3学期がスタートしました。始業式では、小学部を代表して古田朔太郎さん、中学部を代表して里達磨さんが発表してくれました。2人ともとても立派に発表してくれました。3学期は中学3年生にとっては受験が待っています。みんなでプレッシャーにならない程度に応援していきたいと思えます。



大谷選手からのプレゼント

本校にも大谷選手からのグローブが届きました。「野球しようぜ！」のメッセージと共に送られてきたグローブは3つ。1つは左利き用で、3つとも小学生向けの少し小さめのグローブでした。グローブが届いた瞬間に、子どもたちも教職員も大喜び。みんなで写真を撮ったり、さわったりと大感激でした。お披露目式では、瀧田兄弟がキャッチボールするなど、ひょっとすると崎原にまた野球ブームがやってくるかもしれません。興味がある方は崎原校までおこしく下さい。



入 学 説 明 会

1月19日に入学説明会が行われました。来年度は小学1年生に3人。中学1年生に3人入学予定です。崎原集落に住んでいる瀧田徠斗さんもいよいよ中学生です。入学説明会後は、奄美市いきいき健康課の保健師、徳田淳子さんに来ていただき、パパママリフレッシュ講座を行っていただきました。とてもためになる講座でした。



ふるさと奉仕作業

1月13日(土)はふるさと奉仕作業を行いました。いつもお世話になっている崎原集落に何かできないかと児童生徒会が考え、毎年行っている行事です。今回も学校周りの道路の清掃、落ち葉拾い、集会場の片付け、掃除を行いました。いつも様々な行事で、食事や飲み物、カラオケの準備などを行っていただいている崎原集落の皆さんにささやかではありますが感謝の思いを込めてがんばりました。



おしらせ

崎原校区歩こう会

2月4日(日)9:00～崎原校区歩こう会を行います。例年通りの開催です。特に準備するものはございませんが、タオル・水筒・雨具等の準備をお願いします。

令和6年度特認校バス代のお知らせ

新聞報道等でもありましたが、令和6年度のバス代が月額6200円となりました。当初提案から半分ほどの額になりました。御協力ありがとうございました。

令和5年度卒業式について

年度当初の予定では、小中別の開催予定でしたが、諸事情により合同開催となります。

よろしくお祈りします



2月の主な行事

- 9日(金) 崎原福祉交流会(中2)
- 14日(水) 中学校学年末テスト(～16日)
- 21日(水) 授業参観・学級PTA
- 22日(木) 家庭教育学級・親子読書の日



3月の主な行事

- 5日(火) 公立高校入試(～6日)
- 8日(金) 卒業生を送る会 お別れ遠足
- 12日(火) 卒業式(小中合同)
- 13日(水) 公立高校合格発表日
- 25日(月) 修了式
- 27日(水) 離任式

